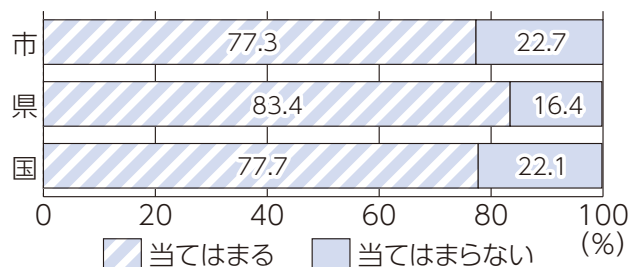
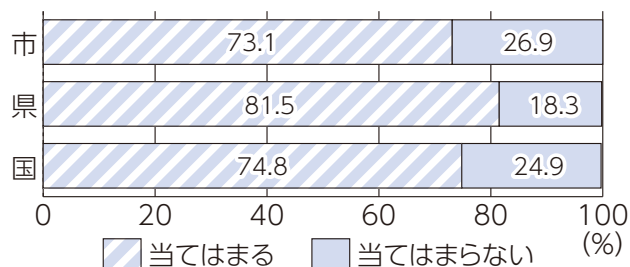


3 授業で課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

小学6年生



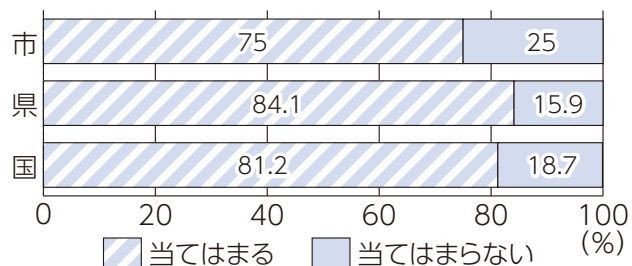
中学3年生



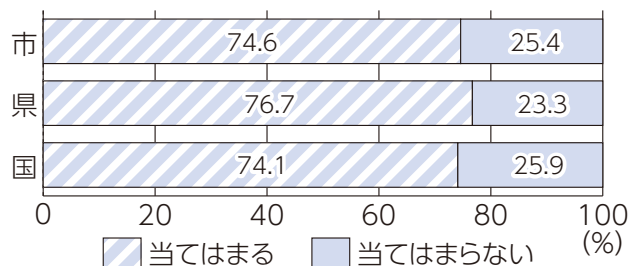
アメリカでは、子どもに「あなたならどうするか」という投げかけから学習する「自分で考え自分の意見を持つ教育」を進めています。フランスでは、子どもたち一人ひとりに「人生に対して自分の考えを持つ教育」を進めています。グローバル化がさらに進むこれからの生きる子どもたちにとって、自分で考え自分の力で解決していく力を育てていくことは、とても大切な課題です。学校では、子どもたち自身が追究してみたいと思う課題づくりや、自分の力で解決する学習を進めていきます。

4 自分には、よいところがあると思いますか。

小学6年生



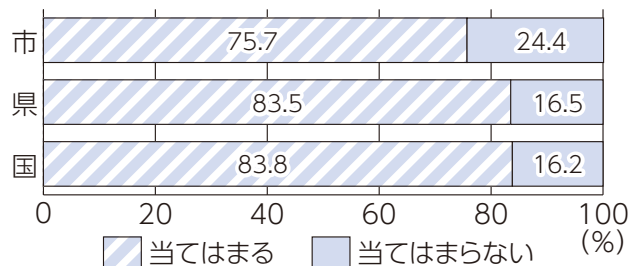
中学3年生



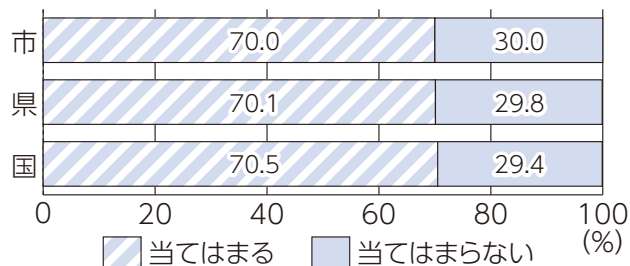
「自分にはよいところがある」を前年度と比較すると、小学6年生は「86.0%」から「75.0%」に、中学3年生は「80.0%」から「74.6%」に減少しました。「自分のよさ」を認識することを「自己肯定感」といいます。自己肯定感には学習を含め、いろいろなことに取り組もうとする「意欲」につながります。子育てや学校生活では、つい悪い点ばかりが目につき、叱ったり注意したりすることが多くなりがちです。しかし、叱るよりほめるほうが子どもは大きく成長します。学校では、一人ひとりのよいところやがんばりを認め励ますことに重点を置いています。これからも、子どもたちのよいところを見つけ、ほめて伸ばしていく教育へのご協力をお願いします。

5 将来の夢や目標を持っていますか。

小学6年生



中学3年生



夢や目標は、生きていくための大きなエネルギー源となります。学校では、キャリア教育や総合的な学習などの時間を活用して、自分の将来や地域を考える子どもの育成に努めています。時には地域の人を講師に招き、夢を持つことの大切さや目標に向かって何度でも挑戦していくことの大切さを伺っています。これからも、子どもたちが夢や目標を持って生活するように、働きかけを工夫していきます。家庭や地域でも、子どもと夢や将来について一緒に考えたり語り合ったりするなど、温かい声かけや見守りをお願いします。